

知的財産戦略ビジョン 目次

資料 1

はじめに

知的財産戦略ビジョン策定にあたって	1
第 1. 将来の社会変化につながると思われる現在の環境変化や兆候	3
1. 国内の価値観・社会状況における変化の兆候	3
2. 新技術の進展と浸透	6
3. 国際関係における環境変化	9
第 2. 現在の兆候から予測される将来の社会像～人が幸せになる社会とは～	11
1. 主に人の将来像（生き方、働き方、価値観）	14
2. 主に産業の将来像（イノベーション、競争力）	15
3. 主に社会の将来像（仕組み・ルール、国際関係）	17
4. 「未来」の相反性（人々が幸せを感じる未来になっているか？）	19
第 3. 将来における「価値」とそれを生む仕組みのデザイン	21
1. 望ましい将来において重要となる「価値」	21
（1）個人の多面性と多様性を活かす	21
（2）リアル（実物、体験、本物、歴史、文化など）の価値が高まる	22
（3）「新しい」を創る（イノベーション）・創発が不可欠に	22
（4）社会が多様な価値を許容することが基盤	23
2. 我が国の新しいビジネスや国際競争力向上につながる「価値」の創出の仕組み	23
（1）多様な個性を生み出す仕組み	24
（2）多様な個人が活躍する環境整備	25
（3）知識のプラットフォーム化	25
（4）多様な価値を包摂する社会システム	26
（5）将来の価値創造エコシステムの一例	27
第 4. 「仕組み」を作る上で認識すべき日本の特徴	30
第 5. 将来の「仕組み」に向けて今後の検討が必要な課題	33
1. 「価値創造立国」への挑戦	33
2. 具体的なシステムの例	37
（1）脱平均で価値を生み出すチャレンジをする人材・組織の育成・集積と彼らが力を発揮して	

イノベーションを生みやすい場の提供	38
①新たな価値創造を行える人材の育成【短・中期】	38
②価値創造メカニズムの見える化とそれを活かした組織経営【短・中期】	38
③多様な人材・組織が集う場の形成【短・中期】	39
④多様な価値が見える化、評価するシステムや指標づくり	39
(2) 技術・データ・コンテンツ等知的資産の柔軟な交流や共有を促し、価値を拡大する	
仕組みの構築	40
①SDGs等実現のための知的資産プラットフォーム【短・中期】	40
②次世代のコンテンツ創造・活用システムの構築【中・長期】	41
(3) 世界に共有される価値や感性の持続的な生産・発信・展開	42
①クールジャパンの魅力分析・効果的発信【短・中期】	42
②クールジャパンを支える外国人の集積・活用【短・中・長期】	44
③デジタルアーカイブの構築【短・中期】	45
(4) その他の今後検討すべき課題	46